

任期満了に伴う 役員改選がありました

去る令和2年5月27日(水)に、令和2年度定時会員総会が予定通り開催されました。今年度は役員の任期満了に伴い改選が行われる年度にあたり、総会の承認を得られ、各役員に於いても就任について快く承諾を得ることができましたので、改めてお知らせ致します。

役員の詳細は以下の通りです。

理事長	輿水幸人(再任)
副理事長	柴山裕子(再任)
理事	功力司(再任)
	小泉美津夫(新任)
	五味順子(新任)
監事	柴田光明(新任)

＝新理事長からのご挨拶＝

令和2年度の役員改選にあたり、NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所の第7代理事長を拝命しました輿水幸人と申します。畑違いの役職に就くことになり、心配と責任の重大さに押し潰されるような気持ちに襲われておりますが、皆様方のご協力を賜り邁進したいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

現在日本はもとより、世界中がコロナ禍に襲われて、混迷、困窮の中にありますが、我が法人も職員が安心して就業できるように最善の安全対策を講じ、一人も感染者を出さないよう努力をしておりますので、職員の各家庭内におきましても自分を守ることで、全員の命が守られることを認識していただき、ご協力をお願い申し上げます。

先人の方々が築いてきた歴史を紐解き、文化を継承し、次の世代に伝えていく役割を職員とともに頑

張っていく所存でございます。皆様には何卒、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、就任挨拶と致します。

追記：只今会員を募集中ですので、ご賛同のうえ入会をお願いいたします。

ユネスコエコパークとかやぶん

昨年度茅ヶ岳歴史文化研究所は、甲武信ユネスコエコパーク地域連絡会に参加しました。

甲武信ユネスコエコパークは、甲武信岳を中心とした秩父多摩甲斐国立公園のブナ林とそこに住む生物の多様性・豊かな生態系に特徴づけられています。この豊かな自然を背景に成立した山岳・神社信仰と信仰にまつわる多様な文化と民俗芸能が伝承されていることも大きな特徴とされています。今後は甲武信ユネスコエコパーク北杜市地域連絡会を中心として、登録エリア内の生態系を保全しながら、エリア内の住民の経済活動が自然と調和するような生活モデルを作り上げる取り組みが行われることとなっています。当面の活動は、まず地域の自然や文化に住民が興味をもち、率先して地域の自然や文化について調べ、正しく知ることができる活動を目指すとのことです。

人間の活動も生態系に含まれます。茅ヶ岳山麓においては縄文時代の本格的な人類の居住開始以来、平安時代の牧を中心とする開発を経て、江戸時代の堰の開削により水田を伴う景観が成立してから400年ほど経っています。その間、人間が開発した畑や水田に適応した植物や昆虫が生きているようになっています。甲武信ユネスコエコパークの豊かな自然には、人間の営みが生み出した新たな自然環境が含まれています。今後、茅ヶ岳歴史文化研究所の活動においては、フットパス事業に自然観察を取り入れ、国史跡梅之木遺跡公園で目指している縄文集落と当時の環境復元に参加しながら、自然と文化の関係を基軸としてエコパーク活動との連携を探っていければと考えています。

今年のかやぶん事業予定

○文化財保護・保全事業（仮）

明野町内にある史跡（旧村指定）の整備（主に除草作業）について郷土研究部をはじめとする地域の方々の協力をいただきながら実施する予定



○フットパス事業

秋以降開催予定

○わら細工に挑戦

12月ごろ開催予定

○明野神楽保存支援事業

11月ごろ開催予定

○博物館研修旅行

3月ごろ飯田市方面へ



上記の全事業については新型コロナウイルス感染症の予防対策に万全を期して開催する予定ですが、開催時期の感染拡大等の状況によっては延期または中止となることを予めご了承ください。

わら細工に挑戦 …わら馬を作ろう…

シリーズ3回目になる「わら細工に挑戦」ですが、昨年度はわら馬作りに挑戦しました。

開催日は令和2年2月8日（土）だったのですが、では何故この日にしたのでしょ？

そもそも、わら馬とは何かということですが、北杜市内（明野を除



く）では毎年初午の日にわら馬を道祖神に供えていたという記録が残っています。これは、山村の生活にとって大切な馬の健康を祈る気持ちが根底に流れているからだと言われています。

また、東日本ではコトヨウカという2月8日と12月8日を農事はじめと農事納めの大事な日だとして、道祖神などに藁のツクリモノを供えて厄災を防ぐという風習があります。この藁のツクリモノには馬や百足、わらじなどがあり

それらを各家庭で作ってお供えするそうです。

今回はこの中でもわら馬に挑戦するということでしたので、今年の初午の日である2月9日に近い日ということと、コトヨウカにも同じ風習があるということを加味して2月8日に開催することになった、という訳です。



当日は、この初午の道祖神祭りの事やコトヨウカについての解説をいただいた後、最初にわら馬の手綱や部品として使用する一本縄（わらを1本ずつ撚った縄）を縛うところから挑戦してもらいました。参加者の皆さんは、それぞれの理想の馬に近づけようと奮闘されていました。次回も、是非別のわら細工にも挑戦したいと意欲満々で帰路につかれました。

＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000円

年会費 2,000円

かやぶんかわら版 第87号

令和2年7月5日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-45-7672

URL <https://kayabun1.wixsite.com/oursite>

e-mail kayabun@hotmail.co.jp